

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	南澤 充
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3335
事務事業名	4110 健康診査事業						
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課						
施 策	01010100 健康づくりの充実						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	040102 衛生費・保健衛生費・予防費					
	事業	040000 健康診査事業					
事業目的				事業概要・効果			
後期高齢者健診、各種がん検診等を実施し、疾病の早期発見、早期治療に努める。				後期高齢者健診、各種がん検診等を実施し、疾病の早期発見、早期治療に努める。 ・後期高齢者健診：75歳以上の市民に対し、個別・集団で実施。 ・各種がん検診：対象年齢の市民に対し主に集団で実施 ・乳がん超音波検診や肺がんCT検診を導入するなど、精度の高い検診を行うことにより、早期発見、早期治療に繋げることができる。 ・市民が受診しやすいよう、胃検診・大腸がん検診は地域を巡回して実施している。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
後期高齢者健診の実施 各種がん検診の実施	後期高齢者健診の実施 各種がん検診の実施
平成24年度 実績	平成25年度 実績
後期高齢者健診の実施 がん検診：がん発見者数 胃2人、大腸6人、子宮1人、乳房8人、肺4人、前立腺6人	後期高齢者健診の実施 がん検診：がん発見者数 胃3人、大腸11人、子宮1人、乳房3人、肺3人、前立腺9人
平成26年度 予定	平成27年度 予定
後期高齢者健診の実施 各種がん検診の実施	後期高齢者健診の実施 各種がん検診の実施

指標名	胃がん検診の受診率					
算式	胃がん検診受信者数÷胃がん検診受診対象者×100				単位	%
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標	50	50	50	50	
	実績	10.7	9.6	9.1		
指標選定の理由	死亡原因の1位であるがんの早期発見のため検診率の向上を図る必要がある					
最終年度目標の根拠	国の目標値である50%とする					
指標名	大腸がん検診の受診率					
算式	大腸がん検診受信者数÷大腸がん検診受診対象者×100				単位	%
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標	50	50	50	50	
	実績	16.8	15.7	15.7		
指標選定の理由	死亡原因の1位であるがんの早期発見のため検診率の向上を図る必要がある					
最終年度目標の根拠	国の目標値である50%とする					
指標名	大腸がん検診の受診率					
算式	大腸がん検診受信者数÷大腸がん検診受診対象者×100				単位	%
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標	50	50	50	50	
	実績	8.5	14.6	14		
指標選定の理由	死亡原因の1位であるがんの早期発見のため検診率の向上を図る必要がある					
最終年度目標の根拠	国の目標値である50%とする					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		84,966	102,162
特定財源	国庫支出金	4,043	4,142
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		80,923	98,020
人員数(人)	正規職員	0.8	0.8
	嘱託職員	0.4	0.3
	臨時職員	0.4	0.5
人員コスト	正規職員	5,486.4	5,486.4
	嘱託職員	1,090.0	817.5
	臨時職員	470.8	588.5
	計	7,047.2	6,892.4
市民一人当たりの経費		1.8	2.1
総額		92,013.2	109,054.4

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	814	消耗品費129、食糧費8、印刷製本費677
13節 委託費	75,126	電算委託料1,438、その他委託料73,688
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	5,882	負担金572、補助金5,310
その他	3,144	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,242	消耗品費147、食糧費9、印刷製本費1,086
13節 委託費	89,059	電算委託料1,914、その他委託料87,145
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	6,157	負担金577、補助金5,580
その他	5,704	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	市民の生命・健康を守るために必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	市民の生命・健康を守るために有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	効率的に実施している	

振り返り（決算年度の取組み課題）
健診、検診に受診率向上に向けた取組みが必要

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
受診の必要性を啓発し、未受診者に受診していただく方策を考える。		健診申し込み時に、内容がわかる説明冊子を作成し受診者拡大を図る。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	